

北海道通信

平成22年 4月20日 【火曜日】

昭和26年11月19日第3種郵便物認可

日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊建設版

富坂建設工業㈱（帯広、
宮坂寿文社長）は十九日、
札幌市北区社会福祉協議会
を通じ同区内のグループ
ホームに車いす三台を寄贈
した。北区役所で行われた
贈呈式では、札幌支店の福
田信行支店長が社会福祉協
議会の湯浅繁男常務理事に
車いすの寄贈を実施。全社
員協力のもと、新聞紙や鉄

議会の湯浅繁男常務理事に
目録を贈呈。これに対し、
湯浅常務は感謝状を手渡
し、謝意を示した。
同社では、社会貢献活動
の一環として、一昨年から
車いすの寄贈を実施。全社
員協力のもと、新聞紙や鉄

支店から福田支
店長が北区役所を訪問。福
田支店長が湯浅常務に目録
を手渡した。

感謝状を受け取った福田
支店長は「車いすの台数は
まだまだ足りてないと思
うので、皆さんが喜んでく
れる限り、今後も続けさせ
ていただきたい」と社会貢
献活動の継続へ気持ちを新
しくしてい

北区社会福祉協議会通じ3台を

ことしも車いす寄贈

グループホームに宮坂建設工業



福田支店長（写真右）が車いす3台の目録を手渡した

くすなどのリサイクルポイントを貯め、車いすと交換していく。毎年、札幌支店がある北区のほか、帯広、釧路で各三台を寄贈。今回を含め、累計で二千七台を贈ったこととなる。

うので、皆さんが喜んでくれる限り、今後も続けさせていただきたい」と社会貢献活動の継続へ気持ちを新たにした。

寄贈した車いすは、区内のグループホームで活用されるが、出席した北区グループホーム管理者連絡会の赤城美智代表は「車いすは入居者が外出の際に必ず必要なもの。車いすが足りずに入居できない入居者も多い」とその重要性を説明。「お年寄りの楽しい思い出の足となるよう、大事に使わせてもらう」と謝意を示した。

同協議会の湯浅常務理事も「私が知る限り、当協議会に車いすを寄贈しているのは富坂建設工業さんだけ。非常にありがたい」としている。